

(参考)

別紙1-2

## 事業実施と生活交通ネットワーク計画との関連について

平成 29 年 1 月 12 日

協議会名:	本別町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>本別町は、北海道十勝東北部に位置し、面積は391.99km<sup>2</sup>、人口約7.4千人の農業が基幹産業の過疎地域であり、人口の減少に伴い、地域内におけるバス利用者は減少傾向にある。しかし、町民や町外からの利用者の足の確保を図るための地域公共交通の整備は、地域における市街地商店街の活性化や通院患者等の移動の確保の面からも、大変重要な課題である。</p> <p>町国保病院の移転に伴い市街地区と国保病院を結ぶ循環バスは、平成12年4月より運行しており、通院のみならず買物等の生活利便性を図るコミュニティバスとしての機能を向上させ、かつ地域間幹線系統との接続を充実させることにより、町民が安心して暮らせる交通環境を確保することを目標に、運行方法等の工夫により将来にわたり持続可能な公共交通サービスを行うことを目指し、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。</p>